

# 石川県能美郡川北町議会

## 1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

先進地視察等により、県内外で通年議会、通年の会期制を導入している町議会での研修や、他町議会との意見交換を行うなど、議会運営の研鑽に努めてきた。

各地域や団体の会合に積極的に出向き、住民との意見交換会を開催し、住民ニーズの把握に努め、その内容を議員間で協議することで共通理解の深度を深めてきた。

また、町民と議会の関係では、本会議のほか、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会、全員協議会等を原則公開とする事で議会の活動の周知に努めた。

「通年議会・一問一答による質問方式の更なる検証」「議会議員としてのモラルやスキルの向上」「住民の代表としての政策の提言や情報発信」「執行部に対するチェック機能の強化」などの課題には、議員10人という小さな議会の利点を活かし、全員での政策づくりや能力向上に弛まぬ努力と自己研鑽に努めている。

このほか、タブレットの導入により会議の開催通知、執行部からの緊急連絡、行事案内などの情報伝達の迅速化と、会議資料などのペーパーレス化の実現に向け、検討・協議を重ねている。

## 2 住民に開かれた議会

議員は、積極的に地域の行事に参加し、町民からの意見や要望などの広聴に努め、それを議会定例会での質問や協議の場で、町執行部に届けている。

議会広報紙は、基本定例会毎に年4回発行し、一般質問の内容、可決議案の内容、委員会毎の審議内容のほか、議会傍聴や視察研修などの活動状況を町民に周知している。

広報紙の内容の充実にあたっては、研修会等に積極的に参加し、より読みやすくよりわかりやすい議会広報紙づくりに日々研鑽を重ねている。

また、CATVの活用方策として、一定期間、本会議の録画放映し、映像により幅広く町民に周知している。

ホームページでは、定例会開催時の過去の一般質問の映像を随時閲覧できるほか、会議録、議員名簿、議会組織、議会広報等を公開している。

また、毎年、町内3小学校の3年生が、社会科の授業の中で、副読本「かわきた」を活用しての学習を行っており、町の仕組みを知る活動の一環として、

議場見学等を行っている。

当日は、議員自らが議会のしくみなどについて説明を行うとともに、子供達からの質問にもわかりやすく答えるなど、小さい頃から議会への興味が高まるよう、議会一丸となって取り組んでいる。